

令和3年度 学校関係者評価報告書

令和3年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評いただきました。その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。
〔 4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切 〕

◆基準1 教育理念・目標

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-2 学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4	3	3	4	3	3	3.4	3
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	4	3	4	4	4	3.9	4

学校関係者 委員会 意見 評価	〔特記事項〕
	▶令和2年度より、「感謝」（学修環境や健康に感謝する心を学ぶ）、「自他共栄」（人間関係の重要性を学ぶ）、「自律」（自ら学ぶ心を修得）の3つを軸としたCM教育（cultivate morality）を取り入れ、学業だけでなく、学校行事をはじめ地域貢献やボランティア活動への参加や、企業見学や学会への参加などの実社会の経験を通して、人材育成に努めていることは学校の特徴として評価できる。 〔意見〕 ▶今後も、地域社会やスポーツ現場での活動に積極的に参加し、本校への理解を深める活動の継続を期待する。

◆基準2 学校運営

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	3
2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4	4	3	4	4	3	3.7	4
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	3	3	4	3	4	3.6	3
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4

学校関係者 委員会 意見 評価	〔特記事項〕
	▶令和4年度より看護学科以外の入学定員数を減員（理学療法学科：35名から30名、柔道整復学科：54名から30名、はり・きゅう学科：60名から40名、アスレティックトレーナー学科：50名から25名）した。 ▶令和3年度に完成予定であった「柔道場」建設が、地域住民との調整が長期化し建設できておらず、教育環境の充実と地域社会との共生との両立に苦慮している。 〔意見〕 ▶卒業生の再サポート制度等の充実を検討するに際して、聴講生や科目履修生の受入れに関する規程が整備されておらず、規程を整備する必要がある。

◆基準 3 教育活動

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	4	4	3	4	4	3.7	4
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	4	4	3	4	4	4	3.7	4
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	4	4	3	4	4	4	3.7	4
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	3	4	4	3	4	3.7	3
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	4	3	3	4	3	4	3.4	3
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	4	3	3	3	3	3	3.1	3
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	4	4	3	4	3	4	3.6	3
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	4	3	3	4	3	3	3.3	3

学校関係者意見評価	〔特記事項〕
	▶令和4年度は、学校法人河合塾学園からの設置者変更後、名古屋平成看護医療専門学校として全学科・全学年が揃う完成年度となるため、学校評価の指標である就職率や合格率の目標達成に向けてキャリア教育や資格取得のたの教育を強化する必要がある。
	〔意見〕
	▶近年、4年生大学の看護師学科が増加している。本校の3年生専門学校の看護師教育の魅力（強み）を明確にする必要があるのではないかと意見があった。 ▶令和4年度は、全学科・全学年が揃う完成年度となる。各部署の教職員の人員の過不足等を把握し、より良い教育が行える組織・人員体制の構築が必要である。

◆基準 4 学修成果

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
4-1 就職率の向上が図られているか	3	4	4	3	4	4	3	3.6	4
4-2 資格取得率の向上が図られているか	3	3	2	3	4	2	4	3	2
4-3 退学率の低減が図られているか	3	3	3	3	3	3	4	3.1	3
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4	3	3	3	3	4	3.3	3
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されている	3	4	4	4	4	4	3	3.7	4

学校関係者意見評価	〔特記事項〕
	▶令和3年度は、看護学科卒業生27名中就職希望の26名、はり・きゅう学科卒業生4名全員、アスレティックトレーナー学科卒業生8名中3名が就職、5名が医療系国家資格取得を目指し、現在、本校医療専門課程の学科に在籍中である。就職者3名の内、2名はトレーナー関連職種に就き、残りの1名は他分野で起業した。
	▶令和3年度の新卒者の国家試験受験者は、看護学科26名、はり・きゅう学科4名（はり師、きゅう師）に対して、国家試験合格者は、看護学科22名、はり・きゅう学科4名であった。
	▶文化・教養専門課程であるアスレティックトレーナー学科では、令和3年度受験生はすべて現役生（8名）であり、既卒者の再受験はなかった。アスレティックトレーナー検定試験合格率は「客観式（理論）50%・実技50%」であった。
	〔意見〕
▶令和4年度は、令和3年度の約2倍の卒業生を、すべての学科より輩出する。キャリアサポートを充実させるために、キャリアサポートスタッフの増員を検討する必要がある。	
▶各学科の就学状況を確認・分析し、学習時間の確保、模擬試験回数を増やす。そして個別指導の徹底などの各学科毎に対策を講じて、合格率100%を目指す必要がある。	

◆基準 5 学生支援

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	4	4	4	4	3	3	3.6	2
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	4	4	4	3	4	3.6	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	3	4	4	4	4	4	3	3.7	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3	4	3	4	3	3	4	3.4	3
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	3	4	4	3	3	3.3	3
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	3	3	4	4	3	3	3.3	3

学 校 委 員 関 係 者 意 見 評 価	〔特記事項〕
	▶令和4年度より、本校が、大学等における修学の支援に関する法律による就学支援の対象機関から外れるため、令和4年4月の入学生より3年間は、国からの就学支援金が受給できない。
	▶就職や求人に対する意識を高めるために、「就職指導室」を利用しやすい図書室横に移転した。また、就職指導室での求人票の掲示のほか、各学科の求人情報を他学科とも共有することにより学生がより、多くの求人情報に触れる機会を増やしている。
	▶令和3年度より、課外活動としてバドミントン部が発足し活動している。
	〔意見〕
	▶在校生の住居エリアが拡大傾向にあるため、就職先開拓エリアを、愛知県近郊から東海エリア全域に拡大する必要がある。

◆基準 6 教育環境

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	3	4	2	3	3	2
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	3	3	4	3	3	3.1	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	4	3	3	4	3	3	3.3	3

学 校 委 員 関 係 者 意 見 評 価	〔特記事項〕
	▶令和3年度完成予定であった柔道場については、近隣住民との調整が長期化し建築図面の変更見直し等も発生したことで完成が令和4年度にずれ込んでいます。なお、令和3年度の柔道の授業は、県庁主管課に相談した上で、隣接したビルの柔術場のフロアを確保し実施した。
	〔意見〕
	▶柔道場の設備について、他校の事例によると畳のクッション性不足によるケガの発生がよく見受けられるとのこと。柔道場の建築・整備について、学生のケガ予防を考慮した仕様を検討して頂きたい。
	▶実施が遅れている空調設備等の大規模修繕については、各学科における教育活動等に支障をきたす場合、優先順位の高い校舎及び教室から速やかに改修する必要があります。

◆基準 7 学生の受入れ募集

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4	3	4	4	3	3	3.6	3
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	4	4	3	4	3	3	4	3.6	3

学校関係者 意見 評価 委員	〔特記事項〕
	<p>▶令和3年度は、新たに「学生募集委員会」を発足し学生募集活動に取り組んだことにより、受験者数を増加させることができた。</p> <p>▶学生募集活動では、本校を志望する方々との「直接対話」に重点を置いていることや、入学検討者のニーズに添った来校イベント企画が好調な結果に繋がっている。</p> <p>▶高校スポーツ大会への救護ボランティアなどに参加したり、「来校型のオープンキャンパス」「高校訪問」など、対面型の学生募集活動を積極的に行うことにより、高校との信頼関係を強化し、高校からの推薦入学者を安定的に確保を目指す。</p> <p>〔意見〕</p> <p>▶他校事例より、オープンキャンパスでの対応教職員によって受験率が大きく変動するとの報告がある。参加者アンケートなどの感想や意見を反映した人員選定が効果的であるとの情報提供があった。</p>

◆基準 8 財務

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	3
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4

学校関係者 意見 評価 委員	〔特記事項〕
	<p>▶平成医療学園全体の令和3年度の経常収支差額がマイナスとなる。原因は、コロナ禍の影響で、グループ他校の留学生が入国できず、学納金収入が大幅に減額したこと。そして和歌山看護専門学校（和歌山県和歌山市）の学校事業譲渡、ならびに中央医療学園専門学校（東京都荒川区）の設置者変更に伴う寄付金の支出があったことなどが主な原因との説明があった。</p> <p>▶更なる財政基盤の安定化を目指し寄付金の募集活動を強化する予定であるとの報告があった。</p> <p>▶名古屋平成看護医療専門学校単体としては、入学者数が、令和元年度56名、令和2年度86名、令和3年度144名、令和4年度157名と増加しており、令和4年度には経常収支差額もプラスに転じる予定であり財務状況は改善している。</p>

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
9-1	法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	4	3	4	4	3	4	3.7	3
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4	3	3	4	3	3	3.4	3
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	3	3	4	3	3	3.3	3

学校関係者 意見 評価 委員	〔特記事項〕
	<p>▶令和3年度は、厚生労働省医政局による「保健師助産師看護師法施行規則指定規則の一部を改正する省令」が令和3年4月1日の施行に伴う改定にそって、看護学科の教育課程の変更申請を行った。</p> <p>〔意見〕</p> <p>▶情報公開など法令順守以上の社会のニーズに応える水準を目指すことを期待する。</p>

◆基準 10 社会貢献・地域貢献

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	委員 4	委員 5	委員 6	委員 7	平均	当校
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	3	4	4	3	3	3.6	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	3	3	4	3	3	3.3	3

価 学 委 校 員 関 会 係 意 者 見 評	〔特記事項〕
	▶コロナ禍の影響により、高齢者向けのイベントの実施が難しくなっている中、元気カフェ（認知症カフェ）を実施し、その活動が、日本看護学校協議会の「第一回私の学校自慢」において優秀賞に選ばれ、表彰されたことは評価に値する。 〔意見〕 ▶今後も、可能な範囲で医療・スポーツ分野の従事者を養成する学校として、社会貢献・地域貢献活動の継続的な実施を期待する。

令和 4 年 8 月 2 4 日

学校法人 平成医療学園
 名古屋平成看護医療専門学校
 校長 高木 保子